

平成26年度 資源化状況

区分	種 別	資源化量	構成比率	前年度対比	年間総売却代・委託費用	
対価を得て行うもの	紙類	新聞	63.93 t	2.33%	△12.15%	1,001,145円
		雑誌	154.18 t	5.61%	△10.80%	1,998,175円
		段ボール	90.98 t	3.31%	△2.88%	1,080,844円
		紙パック	2.29 t	0.08%	△19.65%	24,765円
	毛布	2.12 t	0.08%	△32.91%	34,392円	
	古着	40.39 t	1.47%	1562.14%	395,299円	
	空きびん	6.71 t	0.24%	△56.03%	43,181円	
	金属類	スチール	76.93 t	2.80%	△2.21%	2,243,279円
		アルミ	26.89 t	0.98%	△2.15%	4,065,768円
		鉄くず	179.59 t	6.54%	63.07%	6,400,587円
		電気コード	0.48 t	0.02%	△92.00%	114,048円
		小型家電	25.41 t	0.93%	△47.04%	740,953円
	ペットボトル	17.61 t	0.64%	△22.25%	116,113円	
	発泡スチロール	1.78 t	0.07%	—	179円	
小 計	689.29 t	25.10%	—	18,258,728円		
逆有償	プラスチック製容器包装	55.39 t	2.02%	4.06%	△31,578円	
	ガラスびん無色	48.52 t	1.77%	42.37%	△6,404円	
	ガラスびん茶色	71.44 t	2.60%	△19.28%	△65,366円	
	ガラスびんその他の色	12.13 t	0.44%	—	△9,500円	
	びん(ガラス)くず	179.87 t	6.55%	△7.39%	△2,622,505円	
	有害物	乾電池	9.24 t	0.34%	0.43%	△568,814円
		蛍光管	4.52 t	0.16%	34.93%	△487,620円
	廃棄タイヤ	3.14 t	0.11%	△45.30%	△50,274円	
	特定家庭用機器	1.70 t	0.06%	50.44%	△37,308円	
	焼却灰	1,113.65 t	40.55%	△3.43%	△43,957,241円	
	可燃性粗大ごみ ^{※1}	351.50 t	12.80%	8.66%	△11,938,254円	
	粗大混合物 ^{※2}	58.95 t	2.14%	26.02%	△3,260,994円	
	不燃物残渣 ^{※3}	147.15 t	5.36%	30.26%	△7,728,072円	
小 計	2,057.20 t	74.90%	—	△70,763,930円		
合 計	2,746.49 t	100.00%	2.41%	△52,505,202円		

※1 布団、畳、衣類、木くず、廃プラスチック等

※2 家具・衣装ケース等の切断くず及びスキー板等の分別解体が困難なもの

※3 破碎くず、ガラス、金属、プラスチック等の微細くず

○ごみの資源化率

	年間処理量	資源化量	資源化率
全 体	12,151 t	2,746 t	22.60%
燃えるごみ	10,750 t	1,465 t	13.63%
燃えないごみ・粗大ごみ等	1,282 t	1,206 t	94.07%
容器包装ごみ	119 t	75 t	63.03%

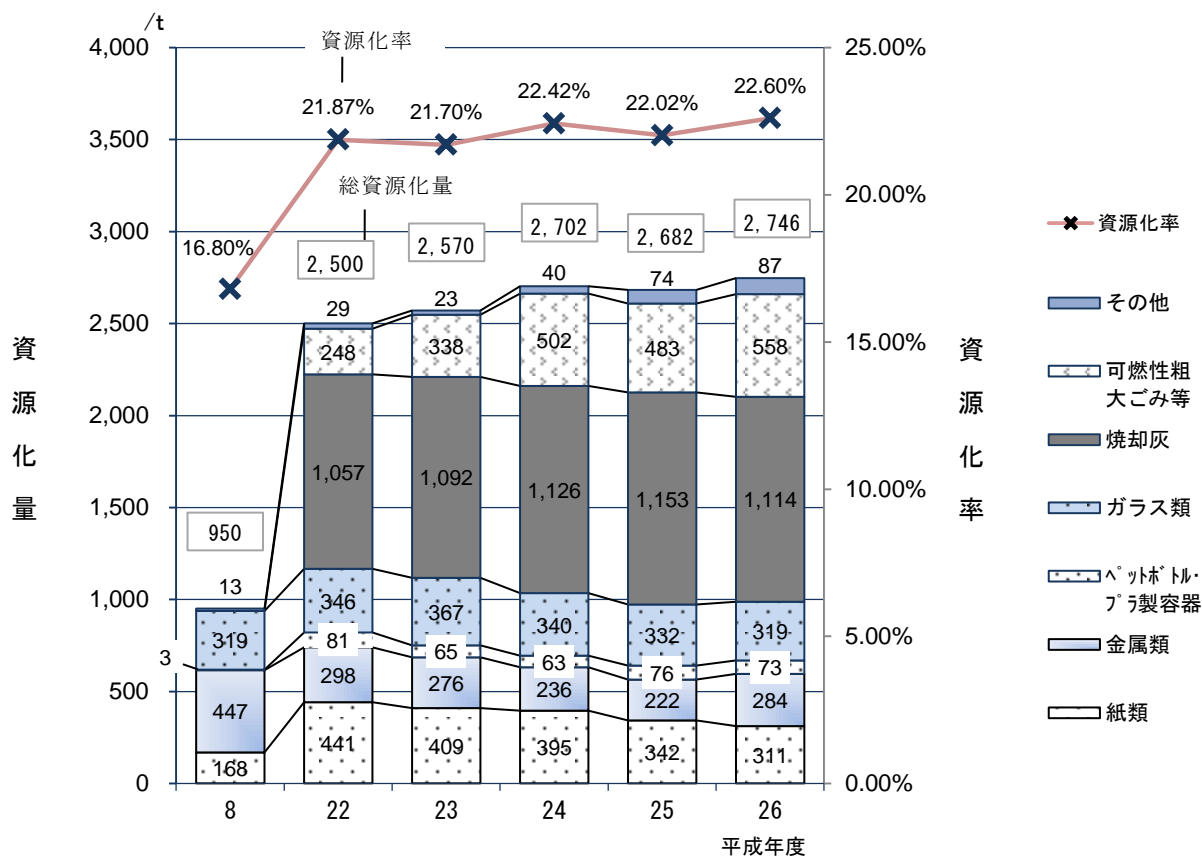
○資源化率の推移

(単位:%)

※ 県内平均の数値は、各年度の『一般廃棄物処理事業の概況』（広島県環境県民局循環型社会課）から抜粋。全国平均の数値は、『日本の廃棄物処理 平成 25 年度版』（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課）から算出。

年 度	8	22	23	24	25	26
組 合	16.80	21.87	21.70	22.42	22.02	22.60
県内平均	8.8	22.1	21.1	20.0	20.0	—
全国平均	5.9	15.7	15.5	15.5	15.8	—

均の数値は、『日本の廃棄物処理 平成 25 年度版』（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課）から算出。



資源化量及び資源化率の推移